

科 目 名	生物活用	単 位 数	2 単 位	学 科 ・ 学 年	畜産総合 科	3 年																																																							
使 用 教 科 書	生物活用	農文教	副教材等	プリント																																																									
学 習 目 標	ウマの飼育や小動物（ネコ）の基本的な活用と効果について学ぶとともに、その特性および特質を学習する。また、動物（馬）の活用を中心に学ぶ。また、畜産業とは異なる業種（飼育員・厩務員）の業務内容やセラピー動物としての活用法について具体的に学んでいきます。																																																												
学 習 評 価	<p>○ 次の四つの観点に基づき、学習内容のまとめ（定期考査までを学習のひとまとめ）ごとに下の評価規準により評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。</p> <table border="1"> <tr> <td>①関心・意欲・態度</td> <td colspan="5">意欲的に取り組む姿勢であるか。 授業に対し研究心を持っているか。</td> </tr> <tr> <td>②思考・判断</td> <td colspan="5">ノートの整理、資料プリント等が整理されているか。 発言の有無。</td> </tr> <tr> <td>③技能・表現</td> <td colspan="5">学習（実習）態度が適切か。 実験、実習内容の理解度があるか。</td> </tr> <tr> <td>④知識・理解</td> <td colspan="5">定期考査、レポート、資料・ノート整理。</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td rowspan="5">  </td> <td>評価方法\観点</td> <td>①</td> <td>②</td> <td>③</td> <td>④</td> <td></td> </tr> <tr> <td>学習態度</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ノート提出</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td></td> <td></td> <td>学期に2回実施</td> </tr> <tr> <td>定期テスト</td> <td></td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>学期に1～2回実施</td> </tr> <tr> <td>実習</td> <td>◎</td> <td></td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>長期休業中に実施</td> </tr> </table> <p>※表中の◎は観点の中でより重視するところです。</p> <p>定期考査、提出物（ノート、実験レポート）、出席状況、学習状況から総合的に評価します。</p>						①関心・意欲・態度	意欲的に取り組む姿勢であるか。 授業に対し研究心を持っているか。					②思考・判断	ノートの整理、資料プリント等が整理されているか。 発言の有無。					③技能・表現	学習（実習）態度が適切か。 実験、実習内容の理解度があるか。					④知識・理解	定期考査、レポート、資料・ノート整理。						評価方法\観点	①	②	③	④		学習態度	◎	◎	◎	◎		ノート提出	◎	◎			学期に2回実施	定期テスト		◎	◎	◎	学期に1～2回実施	実習	◎		◎	◎	長期休業中に実施
①関心・意欲・態度	意欲的に取り組む姿勢であるか。 授業に対し研究心を持っているか。																																																												
②思考・判断	ノートの整理、資料プリント等が整理されているか。 発言の有無。																																																												
③技能・表現	学習（実習）態度が適切か。 実験、実習内容の理解度があるか。																																																												
④知識・理解	定期考査、レポート、資料・ノート整理。																																																												
	評価方法\観点	①	②	③	④																																																								
	学習態度	◎	◎	◎	◎																																																								
	ノート提出	◎	◎			学期に2回実施																																																							
	定期テスト		◎	◎	◎	学期に1～2回実施																																																							
	実習	◎		◎	◎	長期休業中に実施																																																							
履 修 上 意 注 意	○見学や体験実習の際は、必ずレポート提出を行います。																																																												

学期	月	学 習 内 容	時 数	学 習 の ね ら い	学 習 活 動 (評 価 方 法)
1	4・5 6・7	第2部 動物の活用 第2章 ウマの飼育と活用 1. ウマの活用と効果 (1)ウマの誕生と活用のあゆみ (2)わが国におけるウマの活用 (3)これからのウマの活用 2. ウマの種類と品種	28	・ウマの活用の歴史について学び、活用における基本的な効果について学習する。 ・ウマの活用方法と種類を学びながら、これからの活用方法について学習する。	・授業態度 ・発言の有無 ・出席状況 ・ノート提出 ・中間考査 (5月下旬) ・期末考査 (7月上旬)
2	9・10 11・12	3. ウマの性質と行動 4. ウマの飼育と管理 5. ウマの調教と活用 6. 乗馬療法の効果と実際	30	・基本的なウマの生態や習性を学習し、行動や悪癖などを学ぶ。 ・ウマの飼育方法や飼養管理方法を学習する。 ・調教の方法を学び、乗馬や役畜以外の活用について学習する。 ・ウマによる乗馬療法やセラピー活動について学び、その効果の実際について学習する。	・授業態度 ・発言の有無 ・出席状況 ・ノート提出 ・中間考査 (10月上旬) ・期末考査 (12月上旬)
3	1	付章 1. ネコ (1)ネコの活用と効果 (2)ネコの品種・種類 (3)ネコの性質と行動 2. 各種小動物	12	・ペットとしてのネコの飼育方法やネコから得る癒しの効果について学習する。 ・ネコの種類を学習し、生態や行動の基礎知識を学ぶ。 ・各種小動物についての活用方法を理解する。	・授業態度 ・発言の有無 ・出席状況 ・ノート提出 ・訓練士による実演指導 ・中間考査 (1月下旬) ・学年末考査 (3月上旬)
			70		